

電気通信大学 平成19年度シラバス

授業科目名	外国語とその運用（韓）		
英文授業科目名	Foreign Languages and Practice		
開講年度	2007年度	開講年次	3年次
開講学期	前学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	2
科目区分	総合文化科目-上級科目-テーマ別セミナー		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	廉 東浩		
居室	非常勤講師		

公開E-Mail	授業関連Webページ

【主題および達成目標】
韓国語の表現力強化と朝鮮半島事情 この授業では表現力強化に重点をおき、韓国事情や文化を多様な角度から併行して紹介する。

【前もって履修しておくべき科目】
韓国朝鮮語第一と韓国朝鮮語第二

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
韓国・朝鮮語演習と韓国・朝鮮語運用演習

【教科書等】
初回の授業で指定する。

【授業内容とその進め方】
<ul style="list-style-type: none"> ・韓国語にさらに親しむことを主眼とした読解と会話の演習。 ・より多様な表現を用いた作文練習。 ・韓国語演習、運用演習で学んだことの発展を図る。 ・映画などの間接的な文化体験

電気通信大学 平成19年度シラバス

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

評価方法：期末試験及び平常点より総合評価する。

成績評価：平常点（発表、出席率、授業参加度など）：30%

期末試験：70%

最低評価基準：出席率80%以上であること。

【オフィスアワー：授業相談】

- ・授業の前後で解決できない個別相談は事前に電子メールなどで時間を決める。
- ・質問等は電子メールで受け付ける。

【学生へのメッセージ】

言語だけではなく、その言語の背後にある文化に触れてみましょう。間接的ではありますが、そうすることによって韓国人の考え方や生活習慣が分かるようになるでしょう。

【その他】